

平成22年第1回辰野町議会臨時会会議録

1. 招集告示年月日 平成22年1月7日
2. 開会場所 辰野町議事堂
3. 開会年月日 平成22年1月12日 午後3時30分
4. 議員総数 14名
5. 出席議員数 14名
 - 1番 矢ヶ崎 紀 男
 - 2番 前 田 親 人
 - 3番 三 堀 善 業
 - 4番 中 谷 道 文
 - 5番 中 村 守 夫
 - 6番 永 原 良 子
 - 7番 船 木 善 司
 - 8番 岩 田 清
 - 9番 根 橋 俊 夫
 - 10番 成 瀬 恵津子
 - 11番 宮 下 敏 夫
 - 12番 宇 治 徳 庚
 - 13番 山 岸 忠 幸
 - 14番 篠 平 良 平

6. 会議事項

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 平成21年度辰野町一般会計補正予算（第7号）

日程第4 議案第2号 平成21年度辰野町上水道事業会計補正予算（第5号）

7. 地方自治法第121条により出席した者

町長	矢ヶ崎 克 彦	副町長	林 龍 太 郎
教育長	古 村 仁 士	総務課長	小 沢 辰 一
まちづくり政策課長	松 尾 一 利	住民税務課長事務代理	宮 原 正 尚
保健福祉課長	井 口 敬 子	産業振興課長	中 村 良 治
建設水道課長	増 沢 秀 行	水処理センター所長	一ノ瀬 保 弘
会計管理者	竹 淵 光 雄	教育次長	林 一 昭
病院事務長	荻 原 憲 夫	福寿苑事務長	金 子 文 武
消防署長	赤 羽 守		
両小野国保診療所		社会福祉協議会	
事務長	向 山 光	事務局長	林 康 彦

8. 地方自治法第 123 条第 1 項の規定による書記

議会事務局長 桑 沢 高 秋

議会事務局庶務係長 武 井 庄 治

9. 地方自治法第 123 条第 2 項の規定による署名議員

議席 第 6 番 永 原 良 子

議席 第 7 番 船 木 善 司

10. 会議の顛末

○局 長

ご起立願います。（一同起立）礼。（一同礼）

○議 長

改めまして新年あけましておめでとうございます。定足数に達しておりますのでこれより平成22年第1回辰野町議会臨時会を開会いたします。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。第1回臨時会招集にあたり、町長より挨拶を受けます。

○町 長

議員の皆様、改めまして新年おめでとうございます。議員各位におかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。新しい年を迎え議員各位におかれましては議員はじめ住民の皆様とともに私どもはご多幸をお祈りするとともに、更にはまた日頃町政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に心から感謝を申し上げます。さてここに平成22年第1回辰野町議会臨時会を招集いたしましたところ、年頭の大変ご多用のところをご出席賜わり感謝を申し上げます。昨年は世界的金融危機に端を発した経済不況下にありまして、景気浮揚策に明け暮れた一年であったと思います。経済は底を打ち景気回復が緩やかながら改善されたとも言われてる中ではありますが、依然として円高及びデフレスパイラル傾向は拭えず、特に輸出関連の企業は守りの経営を強いられる状況が続いております。町でも不況対策相談窓口を県と連携いたしまして年末まで設置し、金融関係あるいは生活支援に対応してきたところでございます。また昨年は民主党の圧勝により政権交代がなされ、平成22年度の予算案は92兆3,000億円と過去最大の額が閣議決定されたところでございます。個人消費を促す内需拡大や将来に対します不透明感を払拭できる景気回復に向けた経済政策を期待するところでございます。町でも

現在新年度の予算編成に向けて作業に入っているところでありますが、町税の減収が必至の厳しい財政見通しであります。選択と集中により住民の真意を反映できるよう取り組んでまいりたいと思います。辰野病院の移転新築に関しましては、上伊那地域医療再生計画に基づきまして厚生労働省から5年間で25億円の交付が内示されました。上伊那地域の公立3病院の機能分担のあり方の具体的な検討に入ることとなります。その他辰野中学の耐震化工事、また道路改良、介護予防施設の充実等を図りながらソフト面にありましても「育てる」をキーワードに観光や産業の振興、協働のまちづくりの推進に取り組んでまいりたいと思います。議員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて今臨時会にご提案申し上げます議案は、平成21年度一般会計補正予算第7号、辰野町上水道事業会計補正予算第5号の2件であります。提案時にご説明申し上げますので、原案可決くださいますようお願い申し上げます、第1回臨時会招集にあたってのご挨拶といたします。

○議長

これより日程に基づく会議に入ります。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は会議規則第115条の規定により議席6番、永原良子議員、議席7番、船木善司議員を指名いたします。日程第2、会期の決定の件を議題といたします。お諮りいたします。本臨時会の付議事件はあらかじめ告知のとおりでありますので会期を本日、一日としたいと思いますがこれにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議長

異議なしと認めます。よって会期は本日一日と決定いたしました。日程第3、議案第1号平成21年度辰野町一般会計補正予算(第7号)を議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○議会事務局長

(議案第1号 朗読)

○議長

提案者より提案理由の説明を求めます。

○町長

それでは平成21年度辰野町一般会計補正予算(第7号)を提案するにあたりまし

て、提案理由を申し上げます。今回の補正予算は国の内示に伴います介護予防センター改修工事2件、道路台帳整備などの補正予算であります。この補正総額は2,716万円の追加であり予算総額は81億1,348万5,000円となりました。その概要を申し上げますと歳入につきましては固定資産税、負担金、国・県支出金の増額補正であります。歳出につきましては、民生費で渡戸・羽場地区の介護予防センター改修工事及び保育園の光熱水費であります。土木費では、道路台帳整備に要する委託料等であります。教育費ではストーブの購入経費であります。以上のとおり補正予算の概要を申し上げましたが、必要に応じて関係課長より説明いたさせますのでご審議のうえ、可決いただきますようお願い申し上げます。提案理由といたします。

○議長

これより質疑、討論を行います。ありませんか。

○船木（7番）

12ページで2点質問いたしますけれども、まず1点は道路台帳補正の委託料とありますけれども、どこの道路をどの程度にわたって補正をするのか。それから300万の不用減額ということではありますが、その理由はいかがなものかという2点であります。お願いします。

○建設水道課長

それでは委託料の関係の道路台帳補正でありますけれども今般、町道と林道を見直しをする中で沿線に民家あるいは農地、あるいは公共施設等がある路線、林道につきましては新たに町道として管理をしていきたいというそういうことになりました。見直しをする中で今回の補正につきましては林道の小横川線、小横川線につきましては現在今村橋下約200mぐらいから、通称小町屋橋と言いますけれどもマス池の橋でございますがその間約3,200m、沢底の穴山線、道祖神の下から町の上水道の施設のあります沢底水源の上のコンクリート橋まで約1,300m、西部線の与地辰野線の5叉路から桑沢林道入口、この間につきましては農地あるいは民家あるいは水道施設がある間ではありますがこれも約1,300m、それと通常の道路補正、城前線ほかの町道分でございますが合計約6,600mほどを今回町道認定をしていく予定でございます。林道でありますので詳細なデータがございませんので、ここで測量をし延長、幅員等を決めてから3月の議会で道路認定、路線番号を付けていくという予定でございます。よろしく申し上げます。それから負担金、補助金及び交付金

の 300 万円の不用減額でございますが、実はこの数字は当初予算 800 万ございまして県工事の負担金という名目でございますけれども、県工事が今年度辰野町もありましたけれども、地域活性化及び経済危機対策の臨時交付金事業で県単事業を行ったために、通常県単事業15%あるいは国庫補助事業5%の町の負担金というものが国庫補助事業につきましましては発生しましたけれども、県単事業の15%の負担金が発生しなかったために 800 万円の殆どが不用減となっております。その関係で道路台帳の方へ 300 万円の流用をさせていただきました。以上でございます。

○議 長

よろしいですか。

○船木（7 番）

はい。

○議 長

ほかにございますか。

○成瀬（10 番）

10 ページでありますけど、工事請負費の渡戸介護予防センターの改修工事と、羽場の介護予防センター改修工事でありますけど、この改修工事の中身を教えてくださいたいと思います。

○保健福祉課長

羽場、それから渡戸の公民館の改修につきましましては玄関回りのバリアフリー、段差の解消、また手すりの設置、それから身障者用のトイレの改修が主なものでございますけれども、羽場の公民館につきましましては2階へ上がる階段に移動リフトを設置しまして、車イスまた高齢等によりまして膝とか腰が痛い方のために設備を設置するものでございます。この階段移動リフトというものは、階段の形状に沿って壁際にレールを引きそこにイス式のリフトを設置しまして1人ずつ移動するものでございます。以上です。

○議 長

よろしいですか。

○成瀬（10 番）

はい。

○議 長

ほかにごございますか。

(な し)

○議 長

質疑、討論を終結いたします。これより議案第1号平成21年度辰野町一般会計補正予算(第7号)についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。日程第4、議案第2号平成21年度辰野町上水道事業会計補正予算(第5号)を議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○議会事務局長

(議案第2号 朗読)

○議 長

提案者より提案理由の説明を求めます。

○建設水道課長

この予算につきましては、来年度から事業を予定しておりました湯舟の配水池の耐震化改築事業でございますけれども、国の補助事業として約5億円の総事業費で来年度から実施設計に入りまして23、24年度でもって建設を進めておるところでございます。事業費5億円の内、3分の1、約1億7,000万円を国庫補助事業で充てる予定でしたが、この補助事業が厚生労働省の関係の補助事業でありますけれども、政府の事業仕分けの対象となりまして来年度から水道事業の圧縮及び採択基準の変更によりまして当町で予定している、湯舟PC配水池の耐震化事業が補助対象から外れてしまうことが分かりました。この関係で県の指導等もございまして今年度の採択基準で耐震化事業を開始しまして、来年度からは継続事業で実施をしていく予定でございます。このため今年度、来年度予定しておりました地質調査、ボーリング調査でございますけれどもこの事業を21年度に取り込みまして、この耐震化事業を21年度を開始にいたしまして事業を進めていく予定でございます。そのために今回、来年度予定しておりました地質調査につきまして補正予算をお願いす

るものでございます。以上提案理由を申し上げました。原案可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長

これより質疑、討論を行います。ありませんか。

○岩田（８番）

その湯舟のプレキャストの配水池の更新事業ですけれども、具体的にはどういう形で、そっくり替えるということですか。概要を教えてくださいたいと思います。

○建設水道課長

まだ実際の実施設計に入っていませんけれども、概要につきましては現在とほぼ同じ規模のものを同地あるいは隣接する土地を若干買収いたしまして、同規模のものを現在地の所へ造っていくという計画でございます。

○議長

ほかにございますか。

（なし）

○議長

質疑、討論を終結いたします。これより議案第２号平成21年度辰野町上水道事業会計補正予算（第５号）についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議長

異議なしと認めます。よって議案第２号は原案のとおり可決されました。以上で本臨時会に付議された事件は全て終了いたしました。よって平成22年第１回（１月）辰野町議会臨時会を閉会といたします。大変ご苦勞様でした。

1 1 . 閉会の時期

1 月 12 日 午後 3 時 50 分 閉会

この議事録は、議会事務局長 桑沢高秋、庶務係長 武井庄治の記録したものであつて内容が正確であることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

辰野町議会議長

署名議員 番

署名議員 番